



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月31日

上場会社名 株式会社PEGASUS

上場取引所

東

コード番号 6262

URL <https://www.pegasus.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 美馬 成望

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役執行役員管理本部長 (氏名) 岡田 義秀 (TEL) 06(6451)1351

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	4,853	△21.3	59	△89.2	103	△77.9	△64	—
2026年3月期第1四半期	6,167	19.9	551	70.8	469	△1.7	368	△3.4

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 733百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △1,302百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△2.71	—
2026年3月期第1四半期	14.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	45,340	34,071	72.4
2026年3月期	44,963	33,817	72.5

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 32,811百万円 2026年3月期 32,615百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	15.00	—	—	—

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2027年3月期の期末配当予想については、現時点で予想困難であることから未定としております。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	22,180	2.4	840	△11.3	510	△53.8	250	△22.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	24,828,600株	2026年3月期	24,828,600株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	887,076株	2026年3月期	887,076株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	23,941,524株	2026年3月期1Q	24,810,624株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算補足説明資料は、2026年8月10日 (月) にT D n e t 及び当社ホームページに掲載する予定です (ただし、英文については後日掲載予定)。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、全体として緩やかな成長を維持したものの、中東地域を中心とした地政学的緊張への警戒感や貿易摩擦を巡る不確実性の影響が懸念されるなど、先行きには下振れのリスクを抱えながら推移しました。

そのようななか、当第1四半期連結累計期間の売上高は、アパレルマシナリー事業、オートモーティヴ事業ともに減少し、為替変動（前年同四半期比米ドル3円52銭の円安）の影響はあったものの、48億53百万円（前年同四半期比21.3%減）となりました。

利益につきましては、売上高の減少が主な減益要因となり、営業利益は59百万円（前年同四半期比89.2%減）、経常利益は1億3百万円（前年同四半期比77.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は64百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益3億68百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失の計上につきましては、海外拠点の自主修正申告による税金費用の増加等によります。

(アパレルマシナリー事業)

今まで低迷していた中国市場向けが復調してきているものの、バングラデシュが総選挙明けの受注回復を見込んでいたものが中東情勢の緊迫もあり停滞感が継続しています。中東情勢の緊迫は、インド、その他アジア諸国においても同様であり、設備投資に慎重な姿勢が見られました。結果、売上高は30億35百万円（前年同四半期比26.1%減）、セグメント利益は2億94百万円（前年同四半期比42.5%減）となりました。

(オートモーティヴ事業)

世界の自動車販売台数は微増、けん引役は中国、インド、東南アジアであり、北米、欧州は伸びが鈍化しております。そのようななか、当社オートモーティヴ事業は中国メーカー向けで価格引き下げ圧力が厳しさを増し、中国、韓国、タイなどアジア市場で厳しい事業環境が継続しました。米国市場は鈍化傾向にあるとはいえ、当社の販売はメキシコ工場を中心に堅調に推移しました。結果、売上高は18億17百万円（前年同四半期比11.7%減）、セグメント利益は1億34百万円（前年同四半期比58.6%減）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1億73百万円増加し、307億95百万円となりました。これは、商品及び製品が4億76百万円、原材料及び貯蔵品が2億61百万円それぞれ増加し、現金及び預金が5億29百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2億2百万円増加し、145億44百万円となりました。これは、有形固定資産が1億64百万円、投資その他の資産が34百万円それぞれ増加したことなどによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて3億76百万円増加し、453億40百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて76百万円増加し、70億71百万円となりました。これは、その他が76百万円増加し、賞与引当金が27百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて44百万円増加し、41億96百万円となりました。これは、その他が1億37百万円増加し、長期借入金が87百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて1億21百万円増加し、112億68百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて2億54百万円増加し、340億71百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が7億52百万円、非支配株主持分が58百万円それぞれ増加し、利益剰余金が5億43百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年 5 月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,516	9,986
受取手形及び売掛金	6,761	6,982
商品及び製品	7,667	8,143
仕掛品	1,052	948
原材料及び貯蔵品	4,037	4,298
その他	734	589
貸倒引当金	△147	△153
流動資産合計	30,622	30,795
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,627	7,628
その他（純額）	5,517	5,680
有形固定資産合計	13,144	13,309
無形固定資産	23	27
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	584	588
その他	589	619
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,173	1,207
固定資産合計	14,341	14,544
資産合計	44,963	45,340
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,573	2,584
短期借入金	2,350	2,350
未払法人税等	102	119
賞与引当金	184	156
その他	1,784	1,861
流動負債合計	6,994	7,071
固定負債		
長期借入金	2,895	2,808
退職給付に係る負債	399	393
その他	857	995
固定負債合計	4,152	4,196
負債合計	11,146	11,268

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255	2,255
資本剰余金	2,988	2,988
利益剰余金	18,751	18,208
自己株式	△829	△829
株主資本合計	23,166	22,623
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	9,153	9,905
退職給付に係る調整累計額	295	282
その他の包括利益累計額合計	9,448	10,188
非支配株主持分	1,201	1,260
純資産合計	33,817	34,071
負債純資産合計	44,963	45,340

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	6,167	4,853
売上原価	4,144	3,271
売上総利益	2,022	1,582
販売費及び一般管理費	1,470	1,522
営業利益	551	59
営業外収益		
受取利息	26	18
受取配当金	1	1
為替差益	-	44
その他	7	12
営業外収益合計	35	77
営業外費用		
支払利息	22	24
為替差損	90	-
その他	4	9
営業外費用合計	117	33
経常利益	469	103
税金等調整前四半期純利益	469	103
法人税、住民税及び事業税	129	200
法人税等調整額	△59	△56
法人税等合計	70	144
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	399	△40
非支配株主に帰属する四半期純利益	31	24
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	368	△64

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	399	△40
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	-
為替換算調整勘定	△1,687	787
退職給付に係る調整額	△4	△12
その他の包括利益合計	△1,702	774
四半期包括利益	△1,302	733
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,271	674
非支配株主に係る四半期包括利益	△31	59

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	アパレルマシナリー 事業	オートモーティブ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,109	2,058	6,167	—	6,167
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,109	2,058	6,167	—	6,167
セグメント利益	512	325	838	△286	551

(注) 1 セグメント利益の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	アパレルマシナリー 事業	オートモーティブ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,035	1,817	4,853	—	4,853
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	△0	—
計	3,036	1,817	4,853	△0	4,853
セグメント利益	294	134	429	△369	59

(注) 1 セグメント利益の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	301百万円	304百万円